

プロポーザルによる受託候補者選考結果票

以下の業務について、プロポーザルにより選定した受託候補者と契約締結したので、選考結果を公表いたします。

1 対象業務

業 務 名	女性人材・起業家育成事業委託		
契 約 期 間	令和8年7月22日～令和9年3月24日	担当課	市民協働課
契 約 の 相 手 方	特定非営利活動法人 proYELL	契 約 締 結 日	令和8年7月22日
契 約 価 格	1,500,000円		

2 提案等の審査結果

審 査 日	提案書審査	令和8年6月22日	ヒアリング審査	令和8年6月22日
選考委員名	・重巢 敦子(ふくしま女性起業家活躍推進協議会 会長) ・岡部 貴敏(福島県男女共生センター 事業課 副課長) ・安部 幸子(会津若松市男女共同参画推進活動ネットワーク会議) ・伊藤 信昭(株式会社日本政策金融公庫会津若松支店総括課長) ・青山 一也(会津若松市市民部 副部長)			
審 査 方 法	1 審査方法 選考委員5名全員が出席し、提案者1者からのプレゼンテーション(提案説明)及びヒアリング(質疑応答)により提案内容を確認した後、評価基準に基づいて各委員が個別に採点を行った。 2 受託候補者選定の要因 選考委員による審査・評価の結果、特定非営利活動法人 proYELL の提案が、本業務の評価基準を上回る評価点であったため、受託候補者として選定した。			
選 評	選考された事業者は、過去も同様の事業実績を有していることに加え、創業に必要な専門家を多く配置していることから、趣旨に沿った事業の実施が期待できると思われる。また、提案時点でスケジュールや講師の役割が定められていることや、キャリア支援から事業がスタートしている点が評価できる。 一方、同様の事業をこれまでも行っていることを考えると、参加人数の確保に不安要素がある。事業内容においても、女性を取り巻く環境やジェンダーギャップについて知ることができるような内容を取り入れることや、安易なビジネスアイデアとならないように、事業継続に必要な利益を生み出す仕組みや考え方、資金調達の重要性を理解できる講座とフォローを望む。また、事業を行う上で、受講者の思いをどの程度現実化するのか、具体的な目標の設定を望む。			

3 選考結果

参加者名	評価点						
	1：実施方針	2：業務遂行能力	3：類似業務の実績	4：企画提案内容	5：工程計画	6：見積の妥当性	最高点採点者数又は合計点
特定非営利活動法人 proYELL	70	42	80	316	38	20	566／700

※ 各参加者は受付順に記載しています。評価点は、審査項目ごとの審査委員の合計点です。